

# 緑化だより

No.189 令和4年12月号



トキワサンザシ

- 季節の花(ササ(笹))
- 水生昆虫の話  
(コオニヤンマ)
- 小さな世界こけ(ヤワラゼニゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県  
緑化センター  
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

# 季節の花

## ササ(笹)

笹の葉は み山もさやに さやげども 我は妹思ふ 別れ来ぬれば

柿本人麻呂 万葉集 2-0133

これを訳しますと

(ササの葉が山全体を、ざわざわと揺れて、葉音を立てて騒いでいるけれど、私は静かに妻のことを思っやみません、別れをしてきたばかりなので)

705 年頃(飛鳥時代)、柿本人麻呂は石見の国(今の島根県益田市)の国司として赴任していましたが、国司としての任期を終えて、妻と別れ都へ帰る時の切ない気持ちが詠われています。

現在、島根県江津市高角山に人麻呂の万葉歌碑があります。

ササ類はイネ科タケ亜科に属し、数属があります。

ササの仲間は温帯から亜熱帯にかけて多く分布している常緑多年生草本、又は低木です。タケ類はほとんど中国原産ですが、ササ類は日本原産のものが沢山あります。地方により変異が多く、分類が困難です。

タケ類とササ類の違いは、タケ類は成長とともに茎(稈)を包んでいる皮(葉鞘)が早く脱落して、つるつるになりますが、ササ類は成長しても皮(葉鞘)がいつまでも残ります。

笹は昔から神聖なものとされています。

神前で巫女舞(みこまい)や神楽(かぐら)などを奉納するときは、笹をもった歌舞で、神の心を慰め、神に降りて来ていただきます。七夕の笹の飾りは中国の風習で、奈良時代には宮廷の行事として祭りごとが行われ、ササに願い事を書いた短冊を吊るしていましたが、江戸時代には民衆の間にも広がり、全国で七夕まつりが行われるようになりました。

笹の葉は殺菌作用があり、節句のちまきや笹団子のお餅などを包んでいます。また健康茶として笹茶が市販されています。(上村)



チュウゴクササ

# 水生昆虫の話

## コオニヤンマ

みなさんはヤゴというと、どんな姿を思い浮かべますか？私は、小学生のころ、ラジオ体操の行き帰りに用水路にずらっと並んで羽化していた、シオカラトンボのヤゴを思い浮かべます。あと、すらっと細長いソグロトンボのヤゴ。しかし、それらのヤゴとは違う、ちょっと変わった姿のヤゴがいます。今回ご紹介するのは、コオニヤンマのヤゴ。名前だけ聞くと、少し小さいオニヤンマかな？と想像してしまいます。たしかにパッと見はオニヤンマのようにも見えます。しかし、よく見ると左右の複眼が離れており、この特徴からサナエトンボの仲間であることがわかります。今年の夏も緑化センターの小川で、コオニヤンマが飛翔している姿を何度も見かけました。オニヤンマと並べてみると体の大きさも頭の大きさも形も違うのですが、コオニヤンマを小川で見かけると、他のトンボに比べ大きくて迫力があるので、一瞬オニヤンマかと思間違えてしまうこともあると思います。

そんなコオニヤンマのヤゴですが、なんと！トンボのヤゴの中で唯一、水質階級Ⅱの指標生物に挙げられています。



生息環境は、主に丘陵地や低山地の周囲に樹林のある河川や小川などの流れが緩い区域で、石の下や積もった落ち葉の中に生息しています。写真のとおり成虫の姿からは想像がつかない、まるで落ち葉のような平べったい丸い体に、丸い小さな団扇のような触角があり、落ち葉に擬態した個性的な姿をしています。コヤマトンボなどのヤゴも同じような大きさに平べったいのですが、コオニヤンマのヤゴは前脚と中脚が後ろ足よりも短い特徴があります。

今の時期も、冷たい小川の中を探すとヤゴを見つけることができますが、寒いので敢えてお勧めはしないでおきます。食性は肉食で、他の水生昆虫を食べながら2~4年を川の中で過ごし、5月の田植えの時期に羽化して成虫となります。

夏になると緑化センターの小川の辺にある大きめの石の上に、写真のように静止している姿を見かけることがあるので、そっと近づくとズームなしでこちらのような姿を撮影することができるかも！?(西村)



コオニヤンマのヤゴ



コオニヤンマの成虫

## 小さな世界 こけ

### ヤワラゼニゴケ

今回取り上げたコケは緑化センターでの自生はありませんが、皆さんの庭では是非探してみたいコケです。

ヤワラゼニゴケは、窒素分を好むため、昔は便所の汲み取り口付近で見られた、という記録があります。昨今では汲み取り口のある家庭はほとんどありませんが、湿り気のある、日陰の庭の隅などで見つかることがあります。

明るい緑色をした葉状体ですが、冬期には褐色になる葉もあります。

葉の幅は5~8mmで、初めて見た時は葉のつやからホソバミズゼニゴケかケゼニゴケかと思いましたが、1月下旬、雌雄同株の葉の上には、六角形の傘の様な雌器托と、そのすぐそばにイボイボに盛り上がった盤状の雄器托が見られました。4月中旬、雌器托の傘の下に胞子体ができていました。

環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類、広島県絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

広島、岡山、愛媛県での記録はありましたが、写真は山口県岩国市の民家で撮影したもので、山口県初記録です。(山根)



ヤワラゼニゴケ



雄器托 雌器托



ヤワラゼニゴケの孢子体

# 研修会のご案内

- |   |  |
|---|--|
| ○ 12月 4日(日) 『クリスマスリース作り』<br>リースの話とリース作り<br>※ 要予約(キャンセル待ち)、材料費 800円                            | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：森林インストラクター<br>長井 稔                    |
| ○ 12月 10日(土) 『冬のバードウォッチング』<br>散策しながら野鳥を観察します<br>※ 自由参加、無料、双眼鏡持参、雨天中止                          | 10:00～12:00 学習展示館前 集合<br>講師：日本鳥類保護連盟会員<br>吉見 良一                |
| ○ 12月 13日(火) 第6回 ひろしま遊学の森「四季の移ろい」<br>写真コンテスト公開審査<br>※ 自由参加、無料                                 | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：二科会会員<br>宗岡 泰昭                        |
| ○ 12月 15日(木) 『常緑広葉樹の見分け方』<br>常緑広葉樹の枝葉の観察と学習<br>※ 自由参加、無料、ルーペ持参                                | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：森林植物研究家<br>埤田 宏                       |
| ○ 12月 16日(金) 『藤ヶ丸～呉娑々宇山縦走トレッキング』<br>距離約5km、標高差300mを縦走します。健脚向き<br>※ 要予約(先着15名)、無料、軽食・雨具持参、荒天中止 | 9:00～13:00 第5駐車場 集合<br>講師：緑化センター職員                             |
| ○ 12月 18日(日) 『粘土でお正月飾りを作ろう』<br>樹脂粘土をなどを使って、工作・色付け<br>※ 要予約(先着25組)、材料費1,000円、小学生以上対象           | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：デコクレイクラブアカデミー上級講師<br>モーモーアート代表 小田 みやこ |

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

## ☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

- ・ 12月の休園日は5日、12日、19日、26日の月曜日、及び、年末・年始の12月29日(木)～1月3日(火)です。
- ・ 合格祈願「やまこうばし」のお守り  
管理事務所に1人1枚、無料

## ◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

モーモーアート クレイ作品展

12月10日(土) ～2月21日(火)

(ボード展示)

第12回 ひろしま遊学の森

こども写生大会作品展

～12月 8日(木)

第6回 ひろしま遊学の森

「四季の移ろい」写真コンテスト作品展

12月20日(火) ～1月22日(日)



合格祈願「やまこうばし」のお守り